

<試験官に関して>

試験官は以下 2 名でした。

外国人試験官 (NS) :

男性の年配 (65 歳以上か?)、恰幅の良い白髪、大学の先生のような雰囲気をもつ紳士。国籍はわからないが、多分アメリカ人か?

おだやかな口調で、丁寧なしゃべり方。話すスピードは普通で質問は聞きやすかった。

通訳ガイドもしくは人物考査担当試験官 (TG or GO) :

女性の中年、もしくは中年にさしかかったくらいか? (いつも女性の年齢はわかりません。)

体型スマート、才女風であるが、決して冷たい印象はなく、しっかり者で感じの良い人だった。

学校その他で教えているような雰囲気もあった。

※口頭試験は進行及び日本語の質問は通訳ガイド、英語の質問は外国人試験官と、役割が明確であった。

<面接試験の実際>

I	ノックして入室。荷物を片側の椅子に置くようにTGから指示。(日本語だったか、英語か記憶なし)
TG	Take a seat, please.
I	Thank you.
TG	May I have your name?
I	My name is XXX.
NS	Good afternoon, Mr. XXX.
I	Good afternoon, I'm happy to be here.
NS	Where do you live?
I	I live in Suginami Ward, west suburb of Tokyo.
NS	Where in Suginami?
I	In the center of Suginami. XXX, I live in XXX. From Tokyo station, by Chuo-line, it takes about 30 minutes.
NS	Very convenient.
I	Yes, very convenient place.
NS	Well, I'll ask you Japanese religion. Please tell me about Shinto and Buddhism?

I	<p>All right. Shinto and Buddhism are two main religions in Japan. Shinto is the Japanese folk religion. (NS : folk religion、とつぶやいていた。) And the feature of it in the polytheistic religion. (NS : polytheistic、と又つぶやいてくれた。) And this religion is for prosperity of Japanese nation. So, Shinto is the Japanese history itself! (NS、TGとも“えっ”という感じとなり、自分でもかなり飛躍しすぎたとも思ったが、後に引けないので、そのまま進めることにした。)</p> <p>At Shinto shrine we, Japanese always worship for prosperity and happiness. But, it's my opinion, (ちょっと力を入れて言ったら、NS、TGとも聞こうという気持ちを感じられた。) Shinto is philosophically lack of how to live and how to die. In 400 years AD, (NS、TGとも“おやっ”という雰囲気、500 years ADと言うべきだった) Buddhism was imported (come intoの方が良かったと反省) to Japan. Buddhism has no god. Buddha is a person enlightened. (NS : enlightenと納得的(?)につぶやく。) Japanese reinforced Shinto by Buddhism in philosophical aspects.</p> <p>ここでTGに打ち切られて、次の質問へ移ることになった。初めのうち、年甲斐もなく緊張のせいか、話が組み立てづらく、単語も出にくく、ちょっと時間をかけ過ぎたと反省。自分としてはこの後、So, Buddhism and Shinto have co-existed. This is called Shinto and Buddhism syncretismで終わりたかった。)</p>
NS	<p>Now, Mr.XXX, then I'll ask Japanese economy. What is the difference between 1980's economy and the present?</p>
I	<p>OK. (これはlucky。“good question!”と気持ちがやわらぐ。永年の会社生活で日常考えてきたこと。)</p> <p>Well, 1980's was the high economic growth era in Japan. It was most glorious era and everybody felt that our living improved every year. However, since the end of 1980's, by the collapse of bubble economy, (NS、TGともちょっと怪訝な感じ。自分としても、“the beginning of 1990's”と言うべきであったが、“collapse of bubble economy”と言っていたのでいいことにした。) economy has been stagnant. (NS : “stagnant”と前回同様につぶやく。) Some people say it is “lost 20 years” in Japanese economy. Next week, we'll have the election. How to revitalize the economy in one of the main problems. (NS : “revitalize”納得的つぶやきあり。)</p>
TG	<p>(ここで打ち切り。) あなたはどんな通訳ガイドになりたいですか? 日本語でお答え下さい。(えっ! もう英語の質問は終わりかとホッとするとともに、答えに時間を取り過ぎたか、とやや不安になった。)</p>
I	<p>日本のことを良く説明することはもちろんのこととして、旅行中には思わぬことが、私の会社生活で海外担当をした経験でも起きる。例えば、日本に受け入れたお客さんが貝の刺身を食べて腹痛、下痢で高熱を発生し、病院へかつぎこまれることもある。又、我々も他国へ行った時、食事のメニューだけでは、食べ物のイメージがわからないこともままある。旅を健康で気持ちよく過ごせるように、きめ細かいところまで気を配ってあげられるようにしたい。(経験上に実感していること。)</p>

<反省点、後輩へのアドバイス>

2次試験は、受験票の受付けからテストが終るまでの2時間、隣の人との私語は厳禁となり、通常経験しない独特の緊張状態となる。又、自分としても面接される側に、会社の昇格試験以来、35年振りに座ることになり、年甲斐もなく緊張した。これに英語でうまく答えられるか、との不安もつきまとう。誰しも“上り”はするものの、又、その“上り”が火事場の馬鹿力を発揮することにもなり得るので、気持ちを出来るだけコントロールできるように、日頃から自分なりの方法で気持ちを落ちつかせる工夫が必要。私は幾つになってもこの悩みから抜け出せません。又、2次試験は「英語力」にもまして、話したい内容をその場で要領良くまとめる能力が問われる。日頃から色々なことに興味を持って知識を増やし「自分の言葉で」考えをまとめておく必要があります。別にガイド試験に限ったことではないので、これからも心がけたいものです。